

平成20年12月9日

感覚環境のまちづくりの推進に向けての 環境省の取組

環境省 水・大気環境局 大気生活環境室
志々目 友博

1. 感覚環境とは？

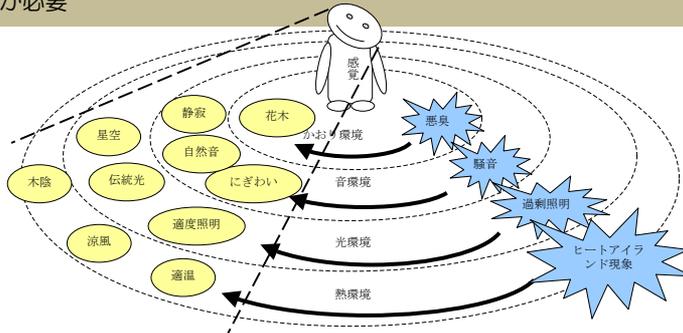
2. 環境省によるこれまでの取組

- 2-1. 残したい日本の音風景100選
- 2-2. かおり風景100選
- 2-3. 「感覚環境の街作り」報告書
- 2-4. 環境の街作り検討会
- 2-5. “いい感じ”のまちづくり テキスト/パンフレット
- 2-6. 「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
- 2-7. 2008かおり風景全国フォーラムin京都
- 2-8. 光害対策ガイドライン,
「星空の街・あおそらの街」全国大会
- 2-9. クールシティ中枢街区パイロット事業
- 2-10. 皇居のクールアイランド効果の活用
- 2-11. 「平安王朝の夜と御苑の森」ライトダウンイベント

3. 今後の展開

1. 感覚環境とは？

- 感覚環境とは
 - 熱、光、かおり、音といった人間が感覚を通じて感じる環境
 - より良い感覚環境の導入の意義
 - ・感覚公害（騒音・悪臭等）に係る苦情件数の増加
- ↓
- ・規制中心の行政に加え、より良い感覚環境の形成について国民の意識を高めていくことが必要



2. 環境省によるこれまでの取組

2-1. 残したい日本の音風景100選（平成8年）

- 日常生活の中で耳を澄ませば聞こえてくるさまざまな音について再発見を促すことが目的
- 人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）を対象に100箇所を選定（鳥の声、昆虫の羽音などの〈生き物の音〉から、川の流れや海の波などの〈自然の音〉、祭りや産業などの〈生活の音〉など。）
- 環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/air/life/index.html>

【日本の音風景検討会】

座長	山下 充康	(財)小林理学研究所理事長
	岡島 成行	環境ジャーナリストの会会長
	品田 稜	国際武道大学教授
	橘 秀樹	東京大学生産技術研究所教授
	鳥越 けい子	聖心女子大学助教授
	堀 繁	東京工業大学工学部助教授
	宮川 輝子	静穏権確立をめざすグループ会長
	湯川 れい子	音楽評論家、環境を守る女性の会WOMEN-1000代表
	渡辺 俊雄	NHK編集局副部長

残したい
日本の音風景100選
新庄宿
(岡山県新庄村)



2. 環境省によるこれまでの取組

2-2. かおり風景100選（平成13年）

- 豊かなかおりとその源となる自然や文化・生活を一体として将来に残し、伝えていくことが目的
- 様々な「かおり風景」100箇所を選定（花や樹木、潮風、温泉、みかん・カボス・りんご等の果物などの自然の香りのほか、にかわ、墨、線香、茶、塩わかめづくりなどの伝統工芸や地方の特産などに関わるものなど。）
- 環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/air/life/index.html>

【かおり風景100選選定委員会】

座長	岩崎 好陽	東京都環境科学研究所応用研究部長
	岡島 成行	日本環境教育フォーラム常務理事
	川崎 通昭	日本香料協会参与、 かおり風景選定方法検討委員会 座長
	古賀 良彦	杏林大学医学部精神神経科学教室教授
	佐藤 友美子	サントリー-不易流行研究所部長
	高木 美保	女優、エッセイスト
	畑 正高	株式会社松栄堂代表取締役社長、道志野流松隠会理事
	道浦 母都子	歌人



日本のかおり風景100選
ふらのラベンダー
(北海道富良野市 他)

2. 環境省によるこれまでの取組

2-3. 「感覚環境の街作り」報告書（平成18年12月）

背景

- 高度経済成長期における第一期の街作りは「量」を中心とし、「質」の観点不足



→五感喪失の無機的な街の形成



- 今後は五感を活かした「質」も重視のまちづくりが必要
- 高度経済成長期に形成された街の更新時期を捉え、熱、光、かおり、音といった人間の五感感覚の切り口からのまちづくりにより良好な生活環境を確保

- 都市更新の機会を捉えた「環境ニース」の実現
- 街作りに感覚環境のデザインセンスを入れ込む
- 問題対応型ではなく環境設計型の対応
- 環境主導・住民主導の街作り

2. 環境省によるこれまでの取組

2-6. 「みどり香るまちづくり」企画コンテスト (平成18年度～)

かおりの樹木・草花を使用したまちづくり

- ◆ 主催：環境省
- ◆ 共催：(社)におい・かおり環境協会、
(社)日本アロマ環境協会
- ◆ 協力：(社)日本植木協会

- まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで良好なかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援
- 地方公共団体、民間企業、NPOなどから企画を募集
- 優秀な企画に「かおりの樹木・草花」を提供



環境省ホームページ http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html

H19年度受賞企画

- ◆ **環境大臣賞**：稚内市恵北地区「香りとさえずりの杜」コミュニティガーデンづくり（北海道稚内市）
企画者：稚内市歴史・まち研究会／稚内市恵北・増幌地区まちづくり委員会
- ◆ **におい・かおり環境協会賞**：四季を織りなす新たなかおり手法で都市緑地を再生（東京都世田谷区）
企画者：東京農業大学造園科学学科
- ◆ **日本アロマ協会賞**：北野活性化プロジェクト・かおりでつなぐ観光名所～風見鶏 meets HERB～（兵庫県神戸市）
企画者：清里ハイランドパーク株式会社神戸事業所
- ◆ **入賞**：香りただよう四季おりおりの競輪場（京都府向日市）
企画者：京都府

【環境大臣賞】

小町
稚内市志光地区 (旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別通信所分庁舎周辺)

「香りとさえずりの杜」
コミュニティガーデンづくり

一企画の目的一

55年間放置されていた旧海軍通信所周辺に「香りの樹木」と「実のなる樹木」を植樹し、野鳥を集める「市民の憩いの場」に再生する。

地域住民を中心とした自主管理によりコミュニティガーデンにする。

一香りのテーマ一

日本の最北端に相応しい、稚内市の市木「エゾヤマザクラ」と市花「ハマナス」を中心に、ハナリンゴ、ライラック、ラベンダー、スモモなど北国の香りの樹を植樹する。

一さえずりのテーマ一

当地区に生息する、シジュウカラ・カモウ・ツツドリなどの、鳴き声が響いてくれる野鳥のため、実のなる樹木を植樹して「野鳥の広場」を作る。

各ゾーンのイメージ

- コミュニティガーデン
敷地全体に合計500本の樹を植樹。市民が香の香りを感じられる空間となる。
- 野鳥の水浴場
野鳥の水浴をウォッチング出来る絶好のスポット。山だけではなく草原に住む野鳥も多いため、野鳥の観察が豊富な地域である。
シジュウカラ ツツドリ
- 花のアプローチ
入り口から丘の上まで、およそ250mの道沿いにエゾヤマザクラ、ラベンダーが植えられ、四季の野草も楽しめるアプローチとなる。
エゾヤマザクラ 100本 ラベンダー 300本分
- 野鳥の広場
戦前は住宅地だった場所を、初夏はライラック、夏はハマナス、そして長期に渡って香りを楽しめるヘメロカリスが咲く香りの響きがある広場に再生する。
ライラック はまなす ヘメロカリス
白10・紫20本 白10・心ざ10本 100本分
- 見晴丘
クルミが繁り、アルメリアが植えられた丘からは西に利尻山の山頂を臨み、入自然を堪能出来る広場となる。
アルメリア 100本分 クルミ 10本

●コケモモ 10本 ●アジサイ 10本
●フサスグリ 10本 ●鼠ユリ 100本分

旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別通信所分庁舎 昭和5年竣工
稚内市歴史・まちづくり研究会 / 稚内市志光・増穂地区まちづくり委員会

2. 環境省によるこれまでの取組

2-7. 2008かおり風景全国フォーラムin京都 ～源氏物語千年のかおり～

- ▶ 主催：環境省、共催：（社）日本アロマ環境協会、平成14年から開催。
- ▶ 平成20年1月27日（日） 京都御苑閑院宮邸跡レクチャールーム
- ▶ かおりを身近に感じてもらい、かおりへの関心を高めより良いかおり環境を保全・創造するために、130周年を迎える京都御苑において開催。
- ▶ 平成20年（2008年）は「源氏物語」が我が国の記録に明確に現れる年（1008年）から1千年を迎え、「源氏物語千年紀」となることから、その舞台である京都にて開催。



環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8736>

2. 環境省によるこれまでの取組

2-8. 「星空の街・あおぞらの街」全国大会 (平成元年度～), 光害対策ガイドライン

<光環境分野>

➤ 光害対策ガイドライン 平成10年3月(平成18年12月改定)

環境省ホームページ http://www.env.go.jp/air/life/hikari_g/

- ◆ 屋外照明の適正化等により、良好な光環境の形成を図り地球温暖化防止に資することが目的
- ◆ 行政、製品の供給者、照明設計者、照明設置者、照明使用者、地域住民が取り組むべき課題を抽出するとともに、技術的・制度的対策のあり方を提案

➤ 「星空の街・あおぞらの街」全国大会 (平成元年度～)

環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10240>

- ◆ 大気環境の保全に対する意識を高める、郷土の環境を活かした地域おこしの推進に役立てることが目的
- ◆ 本年度の第20回大会は、10月4日に愛知県豊田市で開催
・大気環境保全への啓発・普及等において優れた活動を行った団体・個人に対して環境大臣賞などを表彰(県立高校地学部、天文台や個人が受賞)
・毛利衛氏(宇宙飛行士)による記念講演 等
※高円宮妃殿下がほぼ毎回ご臨席

2. 環境省によるこれまでの取組

2-9. クールシティ中枢街区パイロット事業 (平成19年度～)

<熱環境分野>

環境省ホームページ

http://www.env.go.jp/air/life/heat_island/index.htm

- ヒートアイランド現象の顕著な都市の中心市街地のなかでも注目度の高い街区をモデル街区として公募により数カ所選定
- 集中的に複数のヒートアイランド対策(屋上緑地等)を組み合わせたパイロット事業を実施



緑地化



対象事業

<丸の内ビル>



ヒートアイランド対策技術の活用

- ・都市におけるヒートアイランド現象の緩和
- ・ヒートアイランド対策技術の普及促進



2. 環境省によるこれまでの取組

2-10. 皇居のクールアイランド効果の活用



- 面積約115haの大規模緑地
- 皇居外苑及び外苑濠は環境省が管理

環境省調査により判明

- ・ 周辺市街地より約2℃気温が低い
(8月平均)
- ・ 夜間の冷気のにじみ出し
(風のない晴天時)



皇居のクールアイランド効果を活用した
ヒートアイランド対策の推進

地下湧水等の外苑濠への導水
(濠水の水質浄化・ヒートアイランド対策)
etc.

2. 環境省によるこれまでの取組

2-11. 「平安王朝の夜と御苑の森」 ライトダウンイベント

- 主催：源氏物語千年記委員会、環境省京都御苑管理事務所
- 200を超える巨木を含む広大な樹林が広がる京都御苑をライトダウンすることにより、静寂の中で「平安王朝の夜」を再現し、御苑の森を体感する。
- 平成20年10月15日(水)～16日(木)、11月10日(月)～11日(火) 4日間
 - ・ ライトダウン： 日没～20時30分(自由散策)
 - ・ 閑院宮邸跡(京都御苑西南)で講演



【写真 閑院宮邸全景】



環境省京都御苑管理事務所ホームページ

<http://www.env.go.jp/garden/kyotogyoen/topics/080905.html>

3. 今後の展開

- これまでの取組の着実な実施に加え、例えば以下の取組を考えている

- 「感覚環境のまちづくり」先進事例集の作成（平成20年度実施中）
取組の先進事例を取りまとめ、感覚環境を重視したまちづくりを進めることの重要性やそのノウハウを地方公共団体、企業、一般の方々に御理解いただき、各関係者の取組に活用していただく。
- 「より良い感覚環境の見える化」の手法検討
熱、光などの感覚環境を評価するための指標について、より良い感覚環境を客観的・定量的に評価し、「より良い感覚環境の見える化」を図るための手法を構築できないか。
- コンテストの実施
感覚環境のまちづくりに係る優良な取組に対する表彰などを行い、このような優良地域を軸として、さらに各地域における自発的な取組を推進できないか
etc…